

重要文化的景観(小菅の里及び小菅山)の活用を

飯山市教育長 長瀬 哲



文部科学省告示第4号(官報1月26日)で、小菅の里・小菅山が国重要文化的景観に選定されたことは、皆さまご承知の通りです。この選定

決定の背景には、多くの方々の努力がありました。まずは地元の方々の小菅の里における、景観維持・保存のさまざまな活動です。それを基盤にし、各分野の有識者、市担当者による小菅の里の総合的な調査です。それらは、平成17年3月発刊の「長野県飯山市小菅総合調査報告書」、平成26年3月発刊の「文化的景観 小菅の里」の保存調査報告書・保存計画書という形になりました。これらの調査・報告書では信州大学笹本正治先生をはじめ、各分野の先生方により調査がなされました。従って、この2冊の報告書は小菅の里の研究の集大成の意味もあります。特に「文化的景観 小菅の里」の報告書は、信州大学のホームページに掲載されていますので、いつでも閲覧できます。また、市民の皆さまにご覧になっていただきたいと思えます。さて、重要文化的景観の選定は、まず国が選定を決定するのではなく、飯山市が国に対して選定の申出を行いました。国には選定申出の基準があります。その基準は①文化的保存計画を定めていること②景観法等(飯山市では平成26年6月制定)の条例に文化的景観の保存のための必要な規制を制定していること③文化的景観の所有者等占有者の氏名・住所等を把握していることです。この基準をクリアするには、地元の方々の理解と協力なしにできませんでした。例えば、山林の所有者の確認は地元だけでなく、転居したり、県外者で全く小菅に縁のない等と、市担当者が確認するのにたいへん苦労していたのを見ていましたので、今回の文化的景観の選定には多くの方々、理解と協力があつたから可能となったと思います。また、小菅の里・小菅山が重要文化的景観として選定された基準は次の3点で、①用材林・防災林など森林の利用に関する景観地②ため池・水路・港などの水利用に関する景観地③垣根・屋敷林などの居住に関する景観地が、複合した景観地として認定されて、国が重要文化的景観として選定を決定したので。また、飯山市域には、小菅の里・小菅山に匹敵する景観地が多くあることにも気が付かれると思います。さて、重要文化的景観を保存することは、地域の生活や生業を存続維持することに繋がります。ですから今回の重要文化的景

観の選定を、地域の振興を考

低学年アルペンスキー教室を開催

飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会では10年ほど前より、小さいころからアルペンスキーに親しんでもらおうと小学1〜3年の希望者を対象とした低学年アルペンスキー教室を行っています。

今シーズンは12月29日、1月3日、1月12日の3回、戸狩温泉スキー場で開催されました。講師の指導を受け、スキーを履くのがやっとだった子どもが、講習の終わる頃にはリフトに乗ってコースを



11選手が全国へ

—第52回全国中学校スキー大会—

第52回全国中学校スキー大会が2月2日から秋田県鹿角市(ジャンプ、コンバインド)、青森県大鰐町(アルペン・クロスカントリー)で開催され、飯山市からは県大会で優秀な成績をおさめた11選手が出場しました。出場選手を紹介します。(氏名・出身地区・所属・出場競技の順 敬称略)

<全中出場選手>

- 小林 啓将 (太田) (城北中) アルペン (スラローム)
- 小林 亮 (木島) (城南中) クロスカントリー (クラシカル・フリー)
- 千野 竜河 (飯山) (城南中) クロスカントリー (クラシカル・フリー)
- 祖父江 凜 (太田) (城北中) クロスカントリー (クラシカル・フリー)
- 竹ノ内かりん (柳原) (城北中) クロスカントリー (フリー)
- 清水 拓 (飯山) (城南中) ジャンプ・コンバインド
- 高澤 健 (木島) (城南中) ジャンプ・コンバインド
- 田中 皓史 (秋津) (城南中) ジャンプ・コンバインド
- 松永 爽吾 (秋津) (城南中) ジャンプ・コンバインド
- 中村 翔音 (木島) (城南中) ジャンプ・コンバインド
- 中村 愛斗 (太田) (城北中) ジャンプ・コンバインド



1月29日 市役所に表敬訪問にみえました

～市街地に向かってジャンプ～

北陸新幹線飯山駅開業イベント 飯山市ジャンプ大会

北陸新幹線飯山駅開業イベント飯山市ジャンプ大会が1月24日(土)公式練習、25日(日)競技の日程で市営飯山ジャンツェノーマルヒル(K=80)を会場に行われました。当日は好天に恵まれ45名の選手が青空を背景に市街地に飛び込んでいくように飛躍していきました。2月の全国中学校スキー大会、全国高等学校スキー大会に出場する選手には格好の大会となりました。

競技結果は以下のとおりです。



写真は少年組優勝の中村選手。少年組は、ノルディックジュニア世界選手権大会出場者が上位独占しました。最長不倒は、一般組の横川選手 85.5m

- 中学生女子 1位 松村菜央 (野沢温泉中) 2位 畔上沙那 (野沢温泉中)
- 女子 1位 丸山 希 (飯山高校) ※ 2位 笛木美沙 (越後三山八海山SC)
- 3位 北村咲希 (小谷村体育協会)
- 中学生男子 1位 高澤 健 (飯山城南中) 2位 田中皓史 (飯山城南中)
- 2位 松永爽吾 (飯山城南中)
- 少年 1位 中村優斗 (飯山高校) ※ 2位 永峯寿樹 (飯山北高校) ※
- 3位 山本涼太 (飯山高校) ※
- 一般 1位 横川良太 (白馬村SC) 2位 堀米翔大 (日本大学)
- 3位 富井皓大 (山代印刷SC)

※印の4人は2月にカザフスタンで開催されたFISノルディックジュニア世界選手権大会の日本代表選手です。

青少年指導者・育成者(団体)・善行者表彰の対象者の募集について
飯山市青少年育成市民会議では、「青少年健全育成で功績のあった個人や団体」、「特に顕著な善行を行った青少年」を毎年表彰しています。該当される方もしくは団体がございましたら、市民会議構成団体(区長会協議会、青少年育成補導員会、子ども会育成会、飯山少年警察ボランティア協会、公民館、PTA連合会、校長会など)または各地区活性化センターを通じて推薦をお願いします。
【推薦期間】 2月2日(月)〜4月17日(金)
【推薦方法】 所定の「推薦書」に必要事項を記入し、飯山市青少年育成市民会議事務局(市教委スポーツ生涯学習課)へ提出してください。(推薦書用紙は、飯山市ホームページからダウンロードできます) 詳しくは事務局までお問い合わせください。
【問い合わせ先】 スポーツ生涯学習課 生涯学習係 ☎3111 (内線6555)